



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 タキロンシーアイ株式会社
 コード番号 4215 URL <https://www.takiron-ci.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南谷 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 大久保 俊哉
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6453-3845

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	110,097		7,089		7,087		5,883	
29年3月期第3四半期	54,390	1.4	3,112	15.7	3,258	13.9	2,270	13.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 7,106百万円 (%) 29年3月期第3四半期 3,190百万円 (34.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	60.35	
29年3月期第3四半期	31.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	146,328	70,299	46.9	703.29
29年3月期	88,997	49,435	54.7	685.44

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 68,556百万円 29年3月期 48,678百万円

(注) 平成29年4月1日付のシーアイ化成株式会社との合併により、前年同四半期の連結業績と比較して大幅に変動しております。また、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間には連続性がなくなっております。そのため平成30年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載を省略しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		7.00	14.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000		8,400		8,100		6,000		61.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	97,500,000 株	29年3月期	78,698,816 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	19,864 株	29年3月期	7,680,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	97,484,155 株	29年3月期3Q	71,021,857 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、平成29年4月1日付のシーアイ化成株式会社との合併に当たり、シーアイ化成株式会社の株主に対して同日付で26,468,325株を割当て交付しております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、分母の期中平均株式数を算定するにあたり、当該発行済株式数の増加を反映させて、算定を行っております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
(企業結合等関係)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成29年4月1日付で当社を存続会社、シーアイ化成株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。本合併は、企業結合会計上の逆取得に該当し、当社が被取得企業、シーアイ化成株式会社が取得企業となるため、合併直前の当社の連結財務諸表上の資産・負債を時価評価した上で、シーアイ化成株式会社の連結貸借対照表に引き継いでおります。このため、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間には連続性がなくなっております。

これにより、「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」及び「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」においては対前年同四半期及び前連結会計年度末との比較は記載を省略しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、国内企業の堅調な業績や世界的な景況感の改善を背景に、緩やかながらも景気回復が続きました。

一方、上昇傾向にある原材料価格の動向や北朝鮮・中近東情勢を巡る地政学リスクなど懸念材料も内在しており、依然として留意が必要な経営環境が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は110,097百万円、営業利益は7,089百万円、経常利益は7,087百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,883百万円となりました。

報告セグメントの概況は、次のとおりであります。

建築資材事業セグメント

住設建材事業は、採光建材が主力の住宅・非住宅向けポリカーボネート製平板の好調に加え、住宅向けポリカーボネート製建材が災害復興需要の影響もあり伸長しました。一方、住宅資材及び管工機材は戸建住宅の新設着工戸数が前年より減少した影響もあり全体に低調な推移となりました。

床・建装事業は、床部門においてマンション改修分野は前年並みでしたが、非住宅分野が伸長しました。建装部門においては、国内のホテルや大型商業施設物件の獲得があったものの、住宅分野で苦戦が続きました。一方、欧州・中国市場では住宅、非住宅分野共に好調を維持しました。

その結果、建築資材事業セグメントの売上高は35,644百万円、営業利益は3,008百万円となりました。

環境資材事業セグメント

アグリ事業は、主力の農業用被覆フィルムが需要期を迎えたこと、その他関連資材・ハウス物件受注も合わせ、国内販売は概ね堅調に推移しました。

インフラマテリアル事業は、主力の土木資材において震災復興関連物件の遅延や長雨等天候不順の影響による納入予定物件の進捗遅れが発生しましたが、大型樹脂タンク、管更生等の販売が堅調だったため全体的には底堅く推移しました。

その結果、環境資材事業セグメントの売上高は44,153百万円、営業利益は1,200百万円となりました。

高機能材事業セグメント

高機能材事業は、引き続き活況な半導体、FPD関連の設備投資により工業用プレートが伸長しました。また、ポリカーボネートプレート、各種エンブラ素材からなる切削用材料も工作機械、電子部品業界の好況を受け、堅調に推移しました。

電子部品事業は、ホワイトボード向け磁性材、カメラ、電子錠向けモータ共に堅調に推移しました。

その結果、高機能材事業セグメントの売上高は14,582百万円、営業利益は2,140百万円となりました。

機能フィルム事業セグメント

機能フィルム事業は、主力のシュリンクフィルム、ジッパーテープ共に日本国内、アジア、欧米の底堅い需要により引き続き堅調に推移しました。

その結果、機能フィルム事業セグメントの売上高は14,853百万円、営業利益は1,910百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、146,328百万円となりました。流動資産93,500百万円のうち主なものは営業債権52,576百万円であります。固定資産52,828百万円のうち主なものは有形固定資産40,273百万円であります。

負債合計は、76,029百万円となりました。流動負債52,712百万円のうち主なものは営業債務35,778百万円であります。固定負債23,316百万円のうち主なものは退職給付に係る負債12,550百万円であります。

純資産合計は、70,299百万円となりました。このうち株主資本合計は68,062百万円となり、その他の包括利益累計額合計は494百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月8日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,069	15,534
受取手形及び売掛金	22,928	46,231
電子記録債権	4,644	6,345
商品及び製品	7,137	13,417
仕掛品	2,129	2,996
原材料及び貯蔵品	1,894	5,939
繰延税金資産	642	1,307
その他	748	1,900
貸倒引当金	△10	△171
流動資産合計	56,181	93,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,280	14,270
機械装置及び運搬具(純額)	4,905	10,390
土地	10,089	13,916
建設仮勘定	91	414
その他(純額)	920	1,280
有形固定資産合計	24,286	40,273
無形固定資産	496	1,066
投資その他の資産		
投資有価証券	3,607	4,906
繰延税金資産	3,286	3,287
その他	1,211	3,351
貸倒引当金	△73	△57
投資その他の資産合計	8,032	11,489
固定資産合計	32,815	52,828
資産合計	88,997	146,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,335	30,969
電子記録債務	2,085	4,808
短期借入金	1,240	3,010
1年内返済予定の長期借入金	183	5,317
未払法人税等	1,119	1,256
賞与引当金	1,030	1,057
その他	4,072	6,292
流動負債合計	24,067	52,712
固定負債		
長期借入金	606	6,567
繰延税金負債	776	866
役員退職慰労引当金	7	13
退職給付に係る負債	11,334	12,550
資産除去債務	310	379
その他	2,457	2,940
固定負債合計	15,493	23,316
負債合計	39,561	76,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	30,914
利益剰余金	23,190	21,967
自己株式	△2,323	△8
株主資本合計	50,723	68,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,388	664
繰延ヘッジ損益	—	△6
為替換算調整勘定	2	△48
退職給付に係る調整累計額	△3,435	△115
その他の包括利益累計額合計	△2,044	494
非支配株主持分	757	1,742
純資産合計	49,435	70,299
負債純資産合計	88,997	146,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	54,390	110,097
売上原価	36,040	78,443
売上総利益	18,350	31,653
販売費及び一般管理費	15,238	24,564
営業利益	3,112	7,089
営業外収益		
受取配当金	85	102
持分法による投資利益	45	18
その他	160	361
営業外収益合計	291	482
営業外費用		
支払利息	28	153
売上割引	41	62
為替差損	28	24
その他	46	243
営業外費用合計	144	484
経常利益	3,258	7,087
特別利益		
固定資産売却益	1	24
投資有価証券売却益	46	0
退職給付制度改定益	363	—
負ののれん発生益	—	1,180
特別利益合計	411	1,205
特別損失		
固定資産処分損	33	56
投資有価証券売却損	—	5
投資有価証券評価損	27	—
ゴルフ会員権評価損	—	7
特別損失合計	60	69
税金等調整前四半期純利益	3,609	8,223
法人税等	1,306	2,119
四半期純利益	2,303	6,104
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	220
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,270	5,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,303	6,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	365	670
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	△186	307
退職給付に係る調整額	708	33
その他の包括利益合計	886	1,002
四半期包括利益	3,190	7,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,177	6,876
非支配株主に係る四半期包括利益	12	230

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月1日付で当社を存続会社、シーアイ化成株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。本合併は、企業結合会計上の逆取得に該当し、当社が被取得企業、シーアイ化成株式会社が取得企業となるため、合併直前の当社の連結財務諸表上の資産・負債を時価評価した上で、シーアイ化成株式会社の連結貸借対照表に引き継いでおります。

このため、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間に連続性がなくなっております。

当第3四半期連結累計期間における株主資本の各項目の主な変動事由及びその金額は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成29年4月1日残高	15,189	14,667	23,190	△2,323	50,723
当第3四半期連結累計期間の変動額					
被取得企業の期首残高	△15,189	△14,667	△23,190	2,323	△50,723
取得企業の期首残高	5,500	3,979	17,361	△4,499	22,341
合併による増加	9,689	26,934		4,495	41,119
剰余金の配当			△1,276		△1,276
四半期純利益			5,883		5,883
自己株式の取得				△4	△4
当第3四半期連結累計期間の変動額合計	—	16,246	△1,222	2,315	17,339
平成29年12月31日残高	15,189	30,914	21,967	△8	68,062

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	住環境事業	床事業	高機能材事業	メディカル事業	計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	28,188	7,386	17,513	1,301	54,390
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	55	18	61	—	135
計	28,243	7,404	17,575	1,301	54,526
セグメント利益又は損失(△)	△35	1,670	1,445	31	3,112

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	35,644	44,153	14,582	14,853	109,233	863	110,097	—	110,097
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	764	637	119	47	1,569	0	1,570	△1,570	—
計	36,408	44,791	14,702	14,901	110,802	864	111,667	△1,570	110,097
セグメント利益	3,008	1,200	2,140	1,910	8,260	150	8,410	△1,321	7,089

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当社は平成29年4月1日付で当社を存続会社、シーアイ化成株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。これにより、負ののれん発生益1,180百万円が発生しておりますが、各セグメントには配分しておりません。

(企業結合等関係)

平成29年4月1日付の当社によるシーアイ化成株式会社の吸収合併について、第2四半期連結会計期間まで暫定的な会計処理を行いましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

なお、負ののれん発生益の金額に修正は生じておりません。